

乳がん検診における超音波検査の有効性を確かめる研究（J-START）

J-STARTとは

最近、乳がん検診において超音波を使った検診方法が開発され、実際に一部では行われています。しかし、その科学的な有効性はまだ確かめられていません。そこで厚生労働省は「がん対策のための戦略研究」の一つとして、「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」(J-START: Japan Strategic Anti-Cancer Randomized Trial)を平成18年度に始めました。この研究リーダーは大内憲明・東北大学大学院教授です。現在では全国42施設がこの試験に参加しており、これまでに7万人の方々に参加・ご協力いただいています。

研究の内容

40歳代の女性を対象に、マンモグラフィ検査のみを受けるグループ(通常の検診)と、マンモグラフィ検査と超音波検査の両方を受けるグループに無作為に分けて、2つのグループ間で検診の精度(確かさ)、利益・不利益や有効性を総合的に比較する試験です。

研究への参加をお願いします

本研究に参加している検診機関・団体に乳がん検診を受けられる方には、その内容を説明して研究への参加・ご協力をお願いしております。皆様のご協力が、乳がんの克服、さらには日本のがん対策を推進します。

日本対がん協会はこの研究を進めるための支援業務をしています。

お問い合わせ：J-START コールセンター 0120-717-411
(月～金：10：00～17：00)

日本対がん協会ホームページ <http://www.jcancer.jp/senryaku/>
J-START ホームページ <http://www.j-start.org/>